

飛瀬 稔 議員



文化の里、いやしの里 作りについて

Q 過日副議長に選任され、その職責立場を考えると一般質問の回数も減ると思うが初回にあたり質問する。

地方の財政事情は厳しさを増す中、新村長にとってハード面すなわち箱物や土木建設に比べれば極めて小額の予算ながらソフト面も重要な分野である。伝承芸能や文化芸術事業を活用した村勢の振興策に対する基本的な考え方を尋ねたい！

A

村長

優先順位の高い位置で、文化や伝統的なものを大切にしながら、それを中心に進めていくべきだというふう

また、お金をかけなくとも行政というものは大事な部分を進めていくことが出来る。そのためにはやはり職員の意識や能力アップが必要だと考える。6月の本予算の上程時に各行政の分野での所信をしっかりと述べたいと思う。



後世に伝えていきたい貴重な文化遺産

観光産業、商工業への支援について

Q 本村の基幹産業の一つである商工業は長く冬の時代が続いている。

観光が潤えば商工業も活性化される。これらの活性化策について村長の所見を伺いたい。

A

村長

観光業や商工業においては本当に厳しい状況だと認識している。この一番の原因は長く続く経済不況にあると思うしまた、観光客の観光に対するニーズが変わってきたことも原因のひとつであるのではないかと思います。そこで観光施設を線で結び観光客が満足できるような施設に整備していかなければならないと考えている。

なお、JR豊肥線の立野駅までの電化も観光の振興につながってくるので関係機関との連携をもつて実現に向けて努力したい。

また、阿蘇の世界遺産登録も活性に向けての起爆剤になるので県と阿蘇市の連携を持ち実現を図っていききたい。

商業も農業も危機的状況にあり議会の皆さん方と相談しながら早く対策を講じていきたい。

※ 今回、新村長として初議会であるので、本員のロングラン的要望を、改めて述べておきたい。

① JR電化の立野までの延伸、
② 大橋の赤色復活、③ 阿蘇の世界遺産登録、この3点を粘り強く働きかけながら、地域の活性化に向けてともに協力し実現に繋げていただきたい。



地域振興のため、望まれる世界遺産登録